

近畿地方整備局
資料配布

配布日時	平成15年7月4日 19:00
------	--------------------

件名	第27回世界遺産委員会での「大和北道路」の審議結果について
----	-------------------------------

概要	「第27回世界遺産委員会」(6/30～7/5、開催地：パリ)において審議された「古都・奈良の文化財」の保全状況についての審議結果をお知らせします。 ここでは、現在、京奈和自動車道「大和北道路」で実施中の構想段階におけるP1※(パブリック・インボルブメント)の取組みに関し、現在までの日本政府の取組みについて『評価する』とされたほか、『引き続き地域住民に対する情報提供に努めること』など、今後とも構想段階のP1の取組みを引き続き行うよう提案がなされました。
----	---

取り扱い	テレビ・ラジオ： _____
	新聞： _____

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ 奈良県政記者クラブ、奈良県文化教育記者クラブ
------	--

問合せ先	近畿地方整備局 道路部 道路計画第一課長 池口 正晃 (内線4211) 道路計画第一課 課長補佐 大西 博 (内線4212) 電話：[代表] 06-6942-1141 [直通] 06-6941-7435
------	--

第27回世界遺産委員会での「大和北道路」の審議結果について

－記者発表資料－

「第27回世界遺産委員会」(6/30～7/5、開催地：パリ)において審議された「古都・奈良の文化財」の保全状況についての審議結果をお知らせします。

ここでは、現在、京奈和自動車道「大和北道路」で実施中の構想段階におけるPI[®](パブリック・インボルブメント)の取組みに関し、現在までの日本政府の取組みについて『評価する』とされたほか、『引き続き地域住民に対する情報提供に努めること』など、今後とも構想段階のPIの取組みを引き続き行うよう提案がなされました。

※構想段階におけるPI：計画決定手続きの透明性、客観性、公正さを確保するため、計画の早い段階から、第三者等の関与による市民等との双方向コミュニケーションを行うプロセス。

平成15年7月4日

国土交通省近畿地方整備局

発表記者クラブ

国土交通記者会	国土交通省建設専門紙記者会
近畿建設記者クラブ	大手前記者クラブ
奈良県政記者クラブ	奈良県文化教育記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省近畿地方整備局道路部道路計画第一課 課長補佐	おおにし ひろし 大 西 博
電話：[直通] 06-6941-7435 (内線4212)	
国土交通省道路局企画課道路経済調査室課長補佐	はしもと こう 橋 本 幸
電話：[代表] 03-5253-8111 (内線37642)	

第27回世界遺産委員会での「大和北道路」の審議結果について

1. 「第27回世界遺産委員会」がパリで6月30日～7月5日の日程で開催され、アジア地域における世界遺産の保全状況についての審議の中で、「古都・奈良の文化財」の保全状況についても取り上げられました。
2. この中で、京奈和自動車道「大和北道路」の検討状況等について触れ、『世界遺産の価値に対し、不可逆的な影響を及ぼす可能性について、日本政府が調査を行っていることを評価する』として、大和北道路の計画策定に当たって国土交通省が実施している構想段階でのP I（パブリックインボルブメント）の取組みについてユネスコから評価を頂きました。
3. さらに、ユネスコは、大和北道路で実施している構想段階でのP Iの取組みについて、『引き続き地域住民に対する情報提供に努めることを提案する』としており、国土交通省としては、ユネスコの審議結果を尊重し、今後とも、関係機関と連携しつつ、引き続き、構想段階のP Iの取組みを進め、地域住民をはじめ市民の方々に幅広く情報を提供し、多くの方々からご意見を伺いながら、貴重な文化財の保存と調和のとれた大和北道路計画の具体化に努めてまいります。

【審議結果（抜粋）】 <和訳>

49. 古都・奈良の文化財

世界遺産委員会は、

1. 当該遺産について、世界遺産登録後初めてその保全状況について審査した結果、
2. 京奈和自動車道の建設が世界遺産の価値に対し、不可逆的な影響を及ぼす可能性について、日本政府が調査を行っていることを評価する。その上で、
3. 日本政府が、当該遺産の価値の真正かつ一体的な保存を確実に行うよう、引き続き努めることを奨励し、
4. 関係当局が意思決定の過程について、引き続き地域住民に対する情報提供に努めることを提案する。
5. そして、第28回の世界遺産委員会における審査のため、2004年2月1日までに高速道路の建設に関する最終決定及びその意思決定過程の報告を行うよう、日本政府当局に対し要請する。

49. Historic Monuments of Ancient Nara (Japan)

The World Heritage Committee,

- 1. Having examined the state of conservation of the property for the first time since its inscription on the World Heritage List,*
- 2. Expressing its appreciation to the Government of Japan for examining the potential negative and irreversible impact the construction of the Keinawa Motorway could have upon the World Heritage values of the property,*
- 3. Encourages the Government of Japan to continue making efforts to ensure the conservation of the authenticity and integrity of the property,*
- 4. Suggests that the concerned authorities continue their efforts in informing the local communities on the decision making process,*
- 5. Requests the State Party to provide, by 1 February 2004, a report on the decision making process and the final decision concerning the construction of the motorway, for examination at the 28th session of the Committee.*

大和北道路の概要

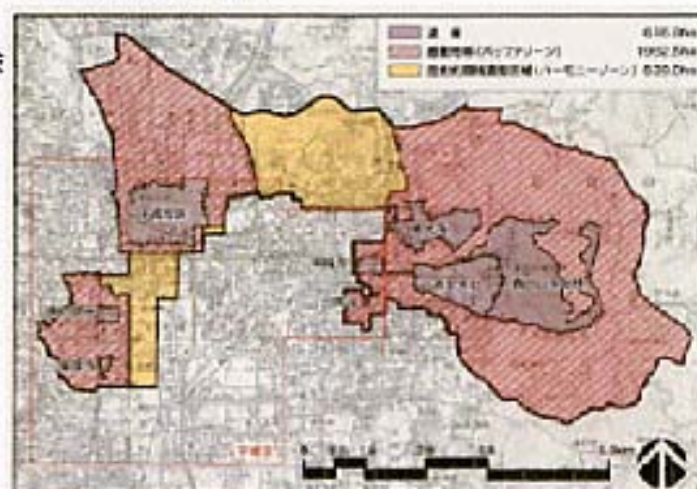
■ 京奈和自動車道「大和北道路」

大和北道路（奈良県奈良市～大和郡山市）は、京都市から奈良市を経て和歌山市に至る京奈和自動車道の一部で、奈良県北部地域の渋滞緩和、交通事故の減少、地域交通の利便性の改善及びアクセス改善による地域活性化が期待されている道路である。



■ 世界遺産「古都・奈良の文化財」

- ・第22回世界遺産委員会で登録(1998.12)
- ・8つの資産で構成
 - 一東大寺、興福寺
 - 春日大社、元興寺
 - 薬師寺、唐招提寺
 - 一平城宮跡、春日山原始林



【歴史的地域「パヴァゾーン」】
・奈良の歴史的地域を保護するための区域
・春日大社、平城宮跡、元興寺跡などに設けられています。

【歴史的地域「ハーモニゾーン」】
・奈良市と大和郡山市の間の歴史的な関係を示す区域
・奈良市と大和郡山市の間の歴史的な関係を示す区域

■ 奈良市、大和郡山市の道路交通の現状

【渋滞】

南北幹線「国道24号」の全体交通の約3割が通過交通で、周辺地域で著しい渋滞が発生している。

(渋滞ポイント)

- ・国道24号「木津IC～郡山IC間(約12km)」で5箇所
- ・国道169号「奈良公園付近～天理IC間(約7km)」で2箇所

【事故】

国道24号の「抜け道」として利用されている県道奈良大和郡山斑鳩線の事故発生率は、近畿地方の一般府県道の約9倍に達している。



【環境(騒音)】

国道24号「木津IC～郡山IC間(約12km)」の沿線では、騒音観測地点11箇所のうち、9箇所で環境基準を超えている。

大和北道路 構想段階でのPI の取り組み

都市計画・環境アセスメント手続きの実施

(平成13年7月～平成14年3月)

目的/大和北道路のルート・構造の検討にあたり、地下水の現状分析を行うとともに、道路建設と地下水挙動との関係を予測・評価

結果/構築したモデルは、現地の地下水状況をよく再現しており、道路建設と地下水挙動の関係を予測評価する上で、信頼できるモデルである。
予測評価の結果、道路建設による地下水変動は、最大2cm程度であり、年間をとした季節変動(約40cm～150cm)より小さい。

<座長>

京都大学大学院工学研究科
土木システム工学専攻教授 大西有三

<委員>

奈良教育大学教育学部
理科教育講座教授 谷口真人
東京大学工学系研究科
地球システム工学専攻助教授 登坂博行
岡山大学環境理工学部
環境システム工学専攻教授 西垣 誠
独立行政法人土木研究所
材料地盤研究グループ長 三木博史

文化財検討委員会

(平成14年3月～平成14年7月)

目的/地下水検討委員会の検討結果等を踏まえ、道路建設における埋蔵文化財保護の観点からの配慮事項について検討(提言)

結果/(提言の抜粋)

- ・平城宮跡は貴重な文化財であり、将来にわたって保存の努力を払うべき。
- ・道路の建設は特別史跡の指定範囲についてはこれを避け、緩衝地帯内においても出きる限り離隔をとって行われることが望ましい。

<委員長>

学習院大学文学部史学科教授 笹山晴生

<副委員長>

京都大学大学院工学研究科

土木システム工学専攻教授 大西有三

<委員>

独立行政法人奈良文化財研究所
平城宮跡発掘調査部長 金子裕之
岡山大学環境理工学部
環境システム工学専攻教授 西垣 誠
東京大学大学院工学系研究科
工学部都市工学科教授 西村幸夫
独立法人土木研究所技術推進行政本部
総括研究官 三木博史
奈良県教育委員会教育次長 井上喜一
奈良市教育委員会
社会教育部長 中和田 守

大和北道路有識者委員会

(平成14年9月～)

目的/大和北道路の計画において、手続きの透明性、客観性、公正性を確保するため、公正中立な立場からPIプロセスの進め方について審議・評価し、意見の把握・分析を行い、これらを踏まえて推奨すべき計画案等について審議・提言する。

PIプロセスの進め方について審議・評価

候補となるルート構造案の検討(別紙参照)
・平城宮跡直下ルート案削除
・整備しない案を含む

市民の方々の意見把握
・アンケート調査、公聴会、専門家へのヒアリング、地域住民へのインタビューなど

把握した意見のとりまとめ

提言のとりまとめ

<委員長>

近畿大学経営学部商学科教授 齋藤峻彦

<委員>

京都大学大学院工学研究科教授 飯田恭敬
京都大学大学院工学研究科教授 小林潔司
奈良女子大学名誉教授 近藤公夫
(財)元興寺文化財研究所長 坪井清足
神戸大学大学院法学研究科教授 山下 淳

構想段階

計画段階

(別紙)

候補となるルート・構造案

◇以下の4つのエリアにおいて、考えられるルート・構造を検討。また、整備しない場合の対策（国道24号の主要交差点立体など）についても検討

- (1) 西側エリア（全区間高架構造案、部分地下構造案）
- (2) 中央エリア①（全区間高架構造案、部分地下構造案）
※平城宮跡直下案は、候補から削除
- (3) 中央エリア②（部分地下構造案）
- (4) 東側エリア（山岳トンネル通過案）

